

熊本市議会  
[市民連合]

# みなさん、こんにちは

## 市議会だよりです

2023年 春号  
(通算 No.223)  
(発行) 市民連合  
市議会だより編集部  
[議員室] TEL(096)328-2650  
FAX(096)324-7777

第1回 定例議会 **2023年度一般会計当初予算額 3,815億円**

第1回定例議会は、2月20日(月)から3月15日(水)の24日間開催され、2023年度一般会計当初予算など、94議案を可決・承認して閉会しました。新規事業や、こども医療費助成制度を拡大する経費21億9千万円や、新型コロナウイルス感染症対策経費29億9千万円などが計上されたことにより、新年度の当初予算額としては、熊本地震後の2017年度に次ぐ過去2番目の規模となりました。

**令和5年度 熊本市一般会計予算 総額3,815億円**

- 主な新規事業の内容
- 砂取環境保護地区買入れ経費 1億800万円
  - 盛土対策経費 8,910万円
  - ベストミックス推進経費 4,900万円
  - 中心市街地活性化推進経費 4,240万円
  - マスターズ水泳関係経費 3,810万円
  - 民間活力を活用した健康づくり事業 3,700万円
  - 都市マスタープラン推進経費 3,300万円
  - 中小企業等DXアクセラレーション事業 3,200万円
  - 観光マーケティング戦略策定経費 1,000万円
  - 博物館施設整備経費 1,930万円
  - ラグビー日本代表戦開催経費 1,926万円
  - 公共建築物ZEB化推進経費 1,810万円
  - 公文書館設置経費 1,700万円
  - プログラミング教育推進事業 1,680万円
  - 学校施設整備方針検討経費 1,650万円
  - 環境影響評価制度関係経費 1,296万円

- エアコン設置助成経費 1,200万円
- 消防行政DX推進事業 1,180万円
- データ活用推進経費 1,000万円
- 市民栄誉賞表彰・熊本市PR関連経費 1,000万円
- 半導体関連企業誘致強化事業 1,000万円

**令和4年2月度 一般会計補正予算 総額50億4,984万円**

- 主な内容
- 公共施設長寿命化等基金積立金 28億円
  - 畜産クラスター事業 3億4,385万円
  - 低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金給付事業 3億3,100万円
  - 広域観光連携事業 1億4,500万円



**可決された意見書**

- ①地方における人材不足解消に向けた制度改革の推進を求める意見書
  - ②多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書
  - ③認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書
  - ④旧優生保護法による不妊手術の被害者の早期全面救済を求める意見書
  - ⑤学校給食費の無償化を求める意見書
  - ⑥高等教育無償化への取組を進めることを求める意見書
- ※市民連合は全ての意見書を提出・賛同。

**代表質問・一般質問** 西岡誠也議員

が「人口減少社会対策」「公契約条例制定」等について代表質問、福永洋一議員が「指定管理者制度による公共施設の運営」「地域力の把握と対策」等について、田上辰也議員が「子どもに関する政策」「社会福祉法人の運営の在り方」等について、吉村健治議員が「徹底的な市民本位の生活の追求、DXの推進」「人権が尊重される豊かで暮らしやすい社会の実現」等について、一般質問しました。



**総務委員会** 上田 芳裕 山内 勝志

総務委員会では、令和5年度に推進する「あらゆる分野でのDX推進」に向けたデータ戦略課創設や熊本市公文書館設置・今後5年間の中期財政計画等の議論を行った。特に、中期財政計画では、「本庁舎の耐震性不足」課題への対応として、本庁舎を建替えた場合と大規模改修のみの場合での税制見通しが示されたが、正確な事業費を示した上で建替え等の議論ができるよう更なる精査・検討を求めた。

常任委員会  
各分科委員会  
予算決算委員会  
報告

**教育市民委員会** 西岡誠也

①今年1月時点でのマイナンバーカードの申請率は80.6%(政令指定都市1位)、交付率64.4%(政令指定都市3位)となっている。コンビニでの証明書発行手数料10円については、令和5年3月までとしていたが、区役所窓口の繁忙期対応を見据え、6月末まで継続する。②5年ごとに更新が必要となる、署名用電子証明書・利用者証明用電子証明書の暗証番号の更新事務を中央・東郵便局に委託し、費用対効果の検証を行う。

**厚生委員会** 福永洋一

予算11件、条例6件、等を審議。子育て関連として、子ども食堂や居場所のない子どもの居場所の設置のための予算が計上されたが、子どもたちの抱える課題等を把握して、行政としての具体的な支援策も必要。民生児童委員の活動について、コロナ禍により二年前に訪問を自粛する旨の通知があり、以後、活動が停滞し、高齢者等の孤立・孤独が深まっている。訪問活動の再開のための、具体的な取り組みが必要。等を要望した。

**環境水道委員会** 田上辰也 島津哲也

下水道事業の脱炭素化は令和4年度までに業務委託の上、対応可能なメニューを抽出し検討を行ってきた事を確認した為、実のある取り組みになるよう要望した。砂取環境保護地区買入れ経費は調査中だが条例22条の規定により予算計上してある事から買入れ基準や利活用案を具体的に検討・整理するよう要望があった。省エネルギー等推進経費は二ーズにあわせた内容変更や国予算による増額対応を行っている為、早期情報発信を依頼した。

**経済委員会** 吉村健治

3年ぶりに開催された「熊本城マラソン」は、絶好のコンディションのもと、フルマラソン・城下町ファンラン・金栗杯30㌔に合計11,710人の出走者が健脚を競い、10,981名が完走し(完走率:約94%)、沿道の応援者数は233,000人にも及び、ボランティアの皆さんのご協力の下、成功裏のうちに終わった。TSMC進出に関しては、「半導体関連産業集積」に向けた産業用地整備の実施手法について議論した。

**都市整備委員会** 村上博

R5年度の予算として、バリアフリー化の推進やバス停のベンチ設置等の経費として「移動等円滑化推進経費」2,300万円が計上された。ハード・ソフト含めてバリアフリー化が進むよう注視したい。市内には、異常気象による豪雨により浸水する地域が多数ある。特に、天明新川近隣の長溝団地は地盤が低く、豪雨のたびに50センチ以上の浸水がある。改善のために、天明新川の改修が15年ほどの期間を要するとのこと、早急なる取り組みが望まれる。